

- 1 活動主題 「4年生のつながりを深めよう」 共通事項（1）－ウ
議 題 「4年生のつながりが深まり、楽しく協力できるような集会をしよう」

2 活動主題設定の理由

- 本学級では、目指す学級像を「スマイル4の1」としている。これは、「一人一人のよいところを認め合い、協力し合って、みんなが毎日笑顔で過ごせるようにしたい」という、子どもたちと担任の強い願いが込められている。子どもたちは、困っている友達がいたら声をかけたり、よくないことは注意し合ったりして、みんなで協力し、楽しい学校生活が送れるようにしようと心がけている。また、代表委員を中心に各係が、それぞれの係からの視点で学級内での問題を見つけ、取組を実施し、問題解決へ向けて活動することもできてきている。このように、学級生活の充実・向上については、自発的・自治的に活動が進められている一方で、学年生活においては問題解決に向けた取組が進められていない。運動会を終えて、学級だけでなく学年で協力することの大切さも感じてきているが、学年として協力して行う活動が少ないと感じている子どもが多い。

そこで、本活動主題を設定し、学級だけでなく、学年の目標である「つながり」を意識して学年全体の友達関係を広げるための方法を、目的性・相互性・実現性の観点から吟味し、集団決定したことを学年で実施できるようにする。これらの活動は、集団決定したことを共同で実践するよさを実感することができ、学年での連帯意識を高め、自発的・自治的な学級・学年にしていく子どもを育成する上で意義深いと考える。

- 本活動主題では、これまでの自分たちの生活を振り返り、4年生全員で協力し合って、学年目標である「つながり」を深めることを目指し、話し合って決まった活動を実践できるようにする。その過程において、計画・実行・ふり返りまでを自分たちで進めていくことで、協力することの大切さや、みんなで協力しやり遂げたという達成感を味わい、子ども自身が、つながりの深まったよりよい集団をつくることができることをねらう。

そこで、集会でを行う活動については、みんなで協力して楽しく行うことができるようなものを考え、全員で意見を出し合い、決定していくことができるようにする。話し合いの過程では、異なる意見にも耳を傾けたり、多様な意見のよさを生かしたりして、折り合いをつけながら合意することの大切さを実感することができる。また、決まったことを共同実践する過程では、友達と協力したり、自分の役割を責任をもって果たしたりすることの重要性を実感させることができる。さらに、子どもの目を学級内の問題にとどめず、学年の問題にまで向けさせることは、高学年に向けて学校生活をよりよくしようとする子どもを育成する上でも、大変意義がある。

- 本活動主題の指導に当たっては、学年でつながりを深めるためには、集会でどんな活動をすればよいのかを集団決定させ、決定した活動を共同で実践できるようにする。

そのために、まず、事前の活動では、これまでの学校生活についてのアンケートを行い、「4年生全員で、つながりを深めるために、何かをやりとげたい」と感じている子どもが多いという共同の問題を明らかにする。そして、問題解決するために、どうしたらよいかを話し合い、「4年生みんなで集会をしよう」という議題を設定させる。また、集会でどんな活動をするのか決めるとい話し合いの目的をつかませ、本時へとつなげる。

次に、本時では、子ども一人一人が「4年生みんなで楽しくつながりをもてるかどうか」という観点で吟味した意見を言うことができるように、話し合いシートに意見をまとめさせておく。また、出された意見を短冊に書き、賛成と反対に分別したり、観点別に色分けしたりするなど、板書を工夫しながら、話し合わせることで、折り合いをつけやすいようにする。その際、みんなが納得する活動に決まるように、3つの観点の中でも、目的性を重視し、常にふり返らせながら、十分な議論ができるように促す。

最後に事後の活動では、実行委員を中心に4年生全員で協力して集会を行い、子どもがお互いに活動のがんばりを認め合う場を設定し、全員でできた喜びを分かち合い、個や学級・学年としての高まりを実感することができるようにする。

3 目標

- 学年目標である「つながり」が十分達成できていないことに問題意識をもち、その解決を目指して意欲的に話し合い、話し合っただけで決まったことに進んで取り組もうとしている。
【関心・意欲・態度】
- 議題について自分の考えをもち、みんなで「つながり」を深めるのにふさわしい内容を目的性・相互性・実現性から吟味し、集団決定した内容をみんなで協力して、実践することができる。
【思考・判断・実践】
- 活動による自分や集団の成長に気づき、共同の問題の解決を目指した活動及び話し合いの進め方や、決まったことを共同で実践することのよさを理解することができる。
【知識・理解】

4 活動計画（学級活動3時間＋課外）

段階	活動内容（○…全体，◎…計画委員）	活動時間
事前	○ 4月から半年間の学年での活動をふり返り、運動会での活動以来、あまり学年で協力して活動する機会がなくなっているという共同の問題を発見する。 【共同の問題】仲のよい友達とは遊んではいるが、学年全体としての活動がなく、学年として協力して活動する機会が少ない。	10月14日 朝の活動
	◎ 目標を達成するために、集会でどのような活動を実施すればよいかアンケートの結果をもとに議題と話し合いの柱の原案を作成する。	10月20日 昼休み
	○ 計画委員の作成した議題と話し合いの柱についての原案が適切かどうか検討し、決定する。また、候補となる遊びを3つに精選する。	10月20日 帰りの会
	○ 候補の内容が、目的性・相互性・実現性の観点にあったものになっているかどうか、また、よりつながりを深めるためにどのような内容やチームにすればよいかを試しの活動を通して、自分なりに話し合いシートにまとめる。	10月21日 学級活動
	◎ 各自が書いた話し合いシートをもとに、話し合いの流れを予想し、話し合いの進め方を確認する。	10月28日 昼休み
本時	○ 学年の「つながり」を深める集会を実践するために、学級全員でどんな活動を実行すればよいか話し合う。 【議題】4年生のつながりが深まり、楽しく協力できるような集会をしよう。 ・ 3つの原案について、目的性・相互性・実現性の観点から比較検討し、学年の「つながり」が深まり、みんなが楽しむことができる活動を決定する。（話し合いの柱①） ・ 決まった内容をより効果のあるものにするため、ルールやチームをどのようにするかを出し合い、決定する。（話し合いの柱②）	10月30日 学級活動（5校時）
	◎ 実行委員や各係をつくって仕事を分担し、準備を進める。	10月31日～
事後	○ 「つながりスマイル集会（仮）」を実施する。	11月6日 昼休み
	○ 「つながりスマイル集会（仮）」をふり返り、成果や課題を明らかにするとともに、自分や友達の頑張りを評価し合い、目標達成についてさらに話し合う。また、今後の4年生での活動の見通しをもち、高学年への意欲を高める。	11月7日 学級活動
		11月10日 朝の活動

5 本時 平成26年10月30日(木) 5校時 於 学習室1

(1) 主眼

- ① 4年生の「つながり」を深めるために、「つながりスマイル集会(仮)」でどんなことをするかについて意欲的に話し合い、必要に応じて条件付きで折り合いをつけることで、全員が納得できる活動やルールやチームを決定することができるようにする。
- ② 4年生の「つながり」を深めるのにふさわしい活動やルールになるかどうかを、目的性・相互性・実現性の観点から吟味したり、出された意見を整理したりしながら、どの活動が最も適切かを比較検討して話し合うことができるようにする。

(2) 準備

- 子ども：事前に考えをまとめた話し合いシート、活動説明の掲示物
- 計画委員：司会マニュアル、短冊カード
- 教師：掲示物(本時の話し合いに至るまでの経緯、話し合いの3つの観点)
学級全員の意見の集約表

(3) 展開

議題	4年生の「つながり」が深まり、楽しく協力できるような集会をしよう。	
提案理由	運動会では、たてわりグループのメンバーで、低学年のお世話をしたり、高学年のお手伝いをしたりするために、4年生同士で協力して活動していたけれど、その後は、学年としての活動もなく、これから、高学年の仲間入りをしていくためには、もっと4年生同士が仲よく協力できるようにならないといけない。そのために、学年で「つながりスマイル集会(仮)」をしたいと考えた。	
	学習活動	指導上の留意点(○)評価(◇) 主体的・共同的な学びを支える支援(※)
つ か む	<p>1 本議題について話し合うことになった経緯をふり返り、話し合いの目的を明確にする。</p> <p>2 議題について話し合い、「つながり」を深めるための集会の内容について吟味・検討する。(※司会グループによる進行)</p> <p>(1) 議題と提案理由及びめあてを確認する。</p>	<p>※ 話し合う意欲を高めることができるように、4年生の現状をアンケートの結果を活用してふり返る。 【教材・課題との出会わせ方の工夫】</p> <p>○ 話し合いが円滑に進むように、話し合いの3つの観点を確認する。</p>
つ く る	<p>(2) 実行する活動をどれにするか意見を出し合い、活動を定める。 (話し合いの柱①)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【候補となる原案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名刺交換 ・チーム対抗クイズ大会 ・長縄 </div> <p>※ 3つの活動から2つを決める。</p>	<p>○ 意見を比較検討できるように、黒板書記が、賛成と反対に分別したり、観点別に色分けしたりできるようにする。</p> <p>※ 3つの観点をもとに吟味した意見を出すことができるように、話し合いシートに、意見とその理由、及びそれが、どの観点到合ったものなのかを記入できるようにしておく。【自分の考えをつくる場・時間の確保】</p> <p>○ 不必要な議論が展開しないように、決まっている条件(活動時間・場所など)や試しの活動で分かったことなどを提示し、確認できるようにしておく。</p>
	<p>4年生の「つながり」が深まり、やってよかったと思える集会になるような話し合いをしよう。</p>	

	<p>【予想される子どもの反応】</p> <p>[名刺交換]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 一人一人のことを知ることができる。 <p>[チーム対抗クイズ大会]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 一人一人の得意なことや苦手なことが分かり、協力することができる。 <p>[長縄]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ とんだ数をはっきり分かって、協力しているかがすぐ分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話し合いの折り合いをつけることができるように、話し合いの観点への振り返りを促していく。
<p>深める</p>	<p>(3) 決まったことを実行するためにルールやチームについて話し合う。(話し合いの柱②)</p> <p>【予想される子どもの反応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容やチームを決める。 ・ 役割を決める。 <p>(実行委員会を作る)</p> <p>[名刺交換]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事前にどんなことを書くか、2組にも伝え、準備しておく。 ○ 1組と2組、男女が同じ人数ずつ入るようにする。 ○ 今まであまり関わっていない人と交換できるようにする。 <p>[チーム対抗クイズ大会]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ たてわり班でチームを作る。 ○ いくつかの問題を作り、いろんな人が活躍できるようにする。 <p>[長縄]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 3分間で何回跳べるかの回数で決める。 ○ 3分間で、ミスした回数で決める。 <p>(4) 本時の話し合いで決まったことを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ※ どの活動に決まっても意見が言えるように、3つの活動の内容やチームをどのようにすればよいか、事前に話し合いシートにまとめさせておく。 【自分の考えをつくる場・時間の確保】 ※ 子どもの考えが広げられるように、意図的につくった小グループで話し合う場を設定する。 【共同学びの工夫】 ◇ 3つの観点に沿って、どの活動がよいか、どのような内容やチームにすればよいか、意見を出し合うことができる。(主眼-②) ◇ 友達の意見に納得したり、条件付きで賛成したりして、折り合いをつけることができる。(主眼-①)
<p>まとめ</p>	<p>3 本時の話し合いを振り返り、決めた活動を実行していく意欲をもつ。</p> <p>(1) 本時の話し合いについて、自己・相互評価をする。</p> <p>(2) 教師の話聞き、本時の話し合いを振り返るとともに、今後の活動に対する意欲をもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ※ よかった点や課題を見つけられるように、話し合いシートに評価欄を作成しておく。【まとめと振り返り】 ○ 次の話し合いへの意欲をもつことができるように、司会グループのがんばりや、観点に沿って的確な意見を出した子ども、意欲的に参加できた子どもを称賛する。 ○ 決まったことを意欲的に実践できるように、今後の日程などを確認する。